



令和6年7月15日

第62号

発行 ランド常磐の会
責任者 会長 石岡 靖夫
事務局 水戸市常磐市民センター
TEL 029-233-7005
印刷 (株)高野高速印刷
ロゴタイプ: 加藤 木 洋一

2/17
土

ときわ春まつり



地域の皆さんご参加ありがとうございました



2/27
火

野外研修(上高津貝塚)



12/11
月

地域学校協働事業(落ち葉清掃)

ランド常磐の会 令和6年度 事業計画

令和6年

4月	ランド常磐の会、社協、自治連定時総会
5月	常磐市民センター花壇植込み、防犯灯のしおり配布
7月	那珂川、沢渡川クリーン作戦 広報紙「らんどときわ」第62号発行
8月	ときわ夏まつり
10月	ときわ地区スポーツ広場、福寿のつどい
11月	野外研修、防災研修会
12月	ふれあい交流会、市民センター内外年末大掃除

令和7年

1月	水戸市消防出初式、新春のつどい 広報紙「らんどときわ」第63号発行
2月	ときわ春まつり
3月	市広報配布委託料支払、町内会分担金納入

4月20日(土)に、ランド常磐の会、社会福祉協議会常磐支部、常磐地区自治連合会の定時総会が、町内会長をはじめ各団体の役員が出席し、開催されました。いずれも、令和5年度事業報告・決算、令和6年度事業計画・予算が承認・可決されました。

また、6年度は役員改選の年に当たり、下表のとおり新役員が選任されました。



令和6年度 定時総会を開催

任期：2年

役職名	氏 名	選出団体名
会 長	石 岡 靖 夫	自治連合会
副 会 長	櫻 井 道 夫	自治連合会
副 会 長	磯 畑 たつ美	女性会
副 会 長	本 多 清 峰	自治連合会
副 会 長	根 本 律 子	民生委員・児童委員協議会
副 会 長	柳 橋 喜代司	高齢者クラブ連合会
副 会 長	砂 川 勝 利	社会体育振興会
副 会 長	後 藤 務	社会福祉協議会
事務局長	三 宅 正 人	自治連合会
会 計	内 藤 有 恒	自治連合会
常任理事	根 本 茂 雄	自治連合会
理 事	秋 葉 欣 二	自治連合会
理 事	横 田 和 二	自治連合会
理 事	鶴 見 政 幸	自治連合会
理 事	津 口 純 子	女性会
理 事	池 田 洋 子	女性会
理 事	篠 田 和 子	女性会
理 事	山 田 文 子	民生委員・児童委員協議会

役職名	氏 名	選出団体名
理 事	清 水 幸 子	民生委員・児童委員協議会
理 事	大 内 恵 子	民生委員・児童委員協議会
理 事	内 田 敏 雄	社会体育振興会
理 事	打 越 高 一	社会体育振興会
理 事	伊 藤 輝 子	ときわふれあいでんわの会
理 事	小 林 富 雄	社会福祉協議会
理 事	和 田 厚 子	女性防火クラブ
理 事	河原井 愛 子	食生活改善推進員会
理 事	笹 本 絵 理	常磐認定こども園PTA
理 事	山 岸 昭	高齢者クラブ連合会
理 事	小 高 礼 子	高齢者クラブ連合会
理 事	藺 部 誠	高齢者クラブ連合会
理 事	清 水 祐 司	常磐小学校PTA
理 事	住 谷 剛	子ども会育成連合会
理 事	小 関 みち子	保健推進員連絡協議会
理 事	高 野 秀 樹	水戸一中学区青少年育成会
監 事	小 松 忠 彦	自治連合会
監 事	渡 辺 峯 子	女性会



松が丘子ども会の射的コーナー(令和5年度)

令和6年8月25日(日)午後3時から、常磐小学校校庭を会場に、夏まつりを開催します。こども太鼓、ビンゴゲーム、常磐小吹奏楽部の演奏、花火大会などのほか、模擬店も多数出店する予定です。多くの皆さんのご来場をお待ちしています。



常磐地区では、次の方が令和5年度のほう賞を受賞されました。(順不同・敬称略)

◆市民憲章ほう賞
功績賞 伊 藤 輝 子
善行賞 滝 田 榮 子

※令和5年度は、常磐地区では永年勤続町内会長ほう賞の該当者はおりませんでした。

令和5年度 ほう賞受賞者

会員募集

常磐女性会

女性会は、会員相互の親睦・交流を図るため、観劇や音楽鑑賞などを実施しており、昨年は劇団四季の公演に、借上げバスで行ってまいりました。

また、市民運動会や春・夏まつりなど地域のイベントのスタッフとして運営に携わり、地域に貢献しています。その中で、毎週木曜日の子育て広場（子どもサロン）は、当会がその運営を担っています。

現在会員は81名。ぜひ私たちと一緒に活動してみま



お母さん方との会話も
子どもサロンの楽しみです

せんか。特に子育てが一段落された皆さんの入会をお待ちしております。関心のある方は、常磐市民センター（TEL2333-7005）までお問合せください。

5月22日（水）、アダストリアみとアリーナ会議室において、沢渡川の洪水対策と緑地の整備について、茨城県（河川課、都市整備課）と当委員会の役員との意見交換会を開催しました。

県からの説明に続いて、役員の皆さんから次のような意見が出されました。洪水対策については、緑地の上流も河川整備を進めてほしい。遊水地の活用も図るべき。また緑地に関しては、駐車場を整備してほしい。川に沿った園路の整備はもとより、上流に向かって散策路を延ばしてほしい。花壇を設置してほしい。



和やかな雰囲気の中、
多くの発言がありました。

活動だより 沢渡川周辺整備推進委員会

い。地元でも協力するので、子供たちが参加できるイベント企画してほしいなどです。

県からは、今後も地元の意向を踏まえていきたいとの発言がありました。

いきいき健康クラブ

身体も心も元気に

「いきいき健康クラブ」は、水戸市高齢福祉課主催の高齢者（65歳以上）向けクラブです。参加して楽しいをモットーに、指導者10名がメニューを毎回考えています。

椅子に座ったままできる体操に始まり、次は立って、脳トレ体操やクイズ。そして、季節の歌や懐かしい歌を歌い、グループに分かれてのゲーム（輪投げ、玉入れ、じゃんけんなど）で競い合い、笑い合い、最後に常磐支部自慢のピンコロ・ルンバを踊ります。

メンバーは43名、毎月第2・3・4月曜日、常磐市民センターで活動しています。身体も心も元気でいたい方、ぜひご参加ください。問合せは常磐市民センターへ（TEL2333-7005）



ピンコロ・ルンバを踊る皆さん

最近テレビ等の大雨のニュースで、線状降水帯という言葉をよく見聞します。そこで、気象庁のホームページで調べてみました。

■線状降水帯とは

次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなし、数時間にわたって、ほぼ同じ場所を通り過ぎることで作り出される、長さ50～300km程度、幅20～50km程度の線状に伸びる強い降水域をいいます。

■半日程度からの呼びかけ

気象庁では、線状降水帯による大雨の可能性が高いと予想された場合、半日程度前から、次のように呼びかけます。「〇〇県では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性があります。」

■顕著な大雨に関する気象情報

線状降水帯により、激しい雨が降り続けている状況を、次のように伝えます。「〇〇県〇〇地方では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所でも降り続けています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。」

常磐市民センターのホームページが開設されました

本年4月に、水戸市のホームページ中の常磐市民センターのページに、地域情報が開設されました。窓口サービス（発行できる証明書）、月別のイベントのお知らせ、定期講座・サークル活動の紹介、地域の広報紙などが掲載されています。

パソコンやスマートフォンで「常磐市民センター地域情報」で検索すると、ご覧いただくことができます。

市民センターでは、常磐地区に関する様々な情報を発信するなど、内容の充実を図っていききたいので、地域の皆さんからの情報提供をお願いしたいのとことです。



▲こちらから
アクセスできます

◎ソフトエアロ&ストレッチ(夜)… 受講生代表

毎月第1・3木曜日の午後7時からの講座です。仕事があっても定期講座に参加したいとの声にこたえて、創設されました。

関口雅代インストラクターの「今日の体調は？」の問いかけに、「肩が凝っています」「腰がだるい」のリクエストでストレッチ開始。体がほぐれたらエアロビクス。音楽にあわせて体を動かしますが、先生の動きについていくのがやっとです。30分もたつ頃には汗がにじんできます。月2回ですが、健康維持のための大切な時間となっています。



元気いっぱい体を動かしています

常磐市民センター定期講座紹介

受講を希望される方は市民センターへ

☎029-233-7005

◎ときわコーラス …… 受講生代表

人見先生の指揮、白石先生のピアノ伴奏のもと、懐かしい童謡唱歌、抒情歌、世界の民謡など、美しいハーモニーが常磐市民センターに響き渡っています。「音楽は心をやわらげる不思議なことばである。」と言われますが、まさに“一生青春”の至福のひとつです。

毎月第2・4金曜日の午後、クラブ員26名が、和気あいあいと、なごやかに活動しています。多くの皆様のご参加を心からお待ちしています。男性の方も歓迎です。



この日は、エーデルワイスほか7曲を歌いました

編集後記

表紙の写真のうち、地域学校協働事業は、令和5年度新たに始めたものです。常磐小学校の外周道路及び校庭の落ち葉を、周辺町内会の皆さんの協力を

もと、子供たちと一緒に清掃しました。6年度以降も、本事業は継続していく予定です。3ページの「いきいき健康クラブ」は、指導者も研修を受け

た地域の方々です。各事業でスタッフとして活動されている地域の皆さんも紹介していきたいと思います。
(三宅小松・磯畑池田・秋葉・石井)

「常磐地区の歴史」

常磐歴史研究会

会長 小林 富雄

水浜電車

チンチン電車

車掌の鳴らすベルの音からチンチン電車と呼ばれた水浜電車は、1922年(大正11年)に浜田―磯浜間8.7キロで営業を始めた。その前年に、太田町(現常陸太田市)の豪商であった竹内権兵衛が社長となつて水戸市柵町23番地に水浜電車株式会社が設立されていました。当時は蒸気機関の列車が一般的で、電気で運行する電車は先進的で珍しいものでした。

電気も販売

同社の事業は電車の運行ですが、電車という名前が示すように送電線を有していたので電灯電力供給事業も経営しました。前号で記述しました茨城鉄道との違いがここにありました。この有利性もあって、1940年(昭和15年)以降には、同社



「谷中停留所」二十三夜尊への最寄り駅「水戸百年」より

は茨城鉄道の経営にも参画し、茨城鉄道の社長も権之助の末弟で水浜電車社長となった竹内雄之助が務めました。

水戸、常磐への延伸

水戸市内の路線は、1923年(大正12年)浜田―根積町間が開業し、次いで東柵町まで延伸しました。翌年には東柵町―郵便局前、その翌年には郵便局前―大工町が開通し、1927

年(昭和2年)には、大工町―谷中、翌年には袴塚と常磐村まで開通しました。大工町(開業時は向井町広小路)からは公園口、砂久保、一中前(戦後新設)馬口(労働入口(高等学校前から改称))谷中、上水戸、袴塚が設けられました。上水戸と袴塚は1944年(昭和19年)に水浜電車、茨城鉄道などが合併し茨城交通が発足して同社の水浜線となり、茨城鉄道の上水戸駅と連結したことに伴い廃止されました。

廃線

昭和20年代は海水浴客の増加等もあって年間で800万人前後の乗車数を記録するほどの好調な経営でしたが、昭和30年代後半には自動車の普及によって年間300万人以下に落ち込み、1965年(昭和40年)6月、水戸駅前―上水戸間が廃止になりました。10日は運転最後の日で、午後6時28分上水戸駅発最終電車は、電車とともに生きてきた従業員約100人が乗込み運行されました。